

政府開発援助（ODA）による武器供与に対する申し入れ

2006年6月16日

内閣総理大臣 小泉純一郎 殿

外務大臣 麻生太郎 殿

日本政府はインドネシア政府に対して「マラッカ海峡のテロ・海賊対策のため」に巡視船艇3隻を、ODAによって無償供与することを決定する、という報道がありました（読売新聞・北海道新聞 2006年6月2日）。私たちは、以下の理由から、この決定は不適切な政策判断であると考え、計画の即時撤回を求めます。

1. 「武器輸出三原則」をふみにじるものである。

政府自身が、巡視船艇は武器であることを認めているように、今回の決定は明らかに海外への武器輸出です。確かに、政府は、2004年に米国ミサイル防衛に関する技術協力で例外とする旨を新防衛大綱の発表に合わせた官房長官談話で、「テロ・海賊対策への支援」に関して、「今後、国際紛争等の助長を回避するという平和国家としての基本理念に照らし、個別の案件ごとに検討の上、結論を得る」という表現を盛り込み例外扱いの可能性を示唆していましたが、今回の件では、「例外」とするに当たってのきちんとした説明がありません。また、「武器輸出三原則」は、「戦力を保持しない」ことを定めた日本国憲法の根幹であり、いわば「日本の良識」であり、武器輸出の例外は歯止めがきかなくなる恐れがあり、基本的にすべきでないものと私たちは考えます。

2. 「ODA大綱」の原則を無視する決定である。

ODA大綱には、ODAを軍事的用途に使わないことが明記されています。また、衆議院外務委員会（1978年）と参議院外務委員会（1981年）でも決議され、その原則が確認されています。日本国憲法が求める「平和共存」のためにODAを使うのであって、「軍事的用途に使わない」という原則は、私たち日本に暮らす者が心から受け入れ、ごく当たり前の考えとなった日本の「平和貢献のあり方」です。2003年に改訂された新・ODA大綱では、「平和構築」や「テロへの対応」などの文言が入りましたが、「テロへの対応」であればどのような支援もODAとして許されるということではありません。ODA大綱の四原則にてらして、文民機関に供与されるものであったとしても、それが実質的に「軍」を助けることになったり、紛争を助長する恐れがないか慎重な判断が求められます。きちんとした説明責任とモニタリング体制の確証がない限り、ODAによる武器供与は「ODA大綱」を無視する決定です。また、当然ですが、社会環境配慮ガイドラインなどをきちんとして適用して、巡視船供与がどのような影響をもたらすかしっかりと事前にチェックされなければならないことは言うまでもありません。

3 . ODA による軍事援助・軍事化を加速させる。

「治安対策」という名目で、また使用目的を限定したとしても、「武器供与」は公権力の強化を明確に意図したものです。しかし、いくつかのドナー国は、「治安対策」のためには、公権力の強化よりも、市民社会の強化を通じたガバナンス、公権力の乱用に対するチェックといった民主主義支援の観点から市民社会の支援を重視しています。また、真の「治安対策」のためには、公的機関への機材供与だけでは意味をなさず、技術協力などを通じた司法分野の改革、市民社会による監視機関の整備などが伴わなければ国家暴力の温床となってしまうことは、多くのドナーが認めていることです。これまで日本の ODA は、警察活動支援であっても、人権配慮の観点から、一定の歯止めをかけていました。ODA の供与には、明確な理念と原則がなければなりません。それをなし崩しにするような決定は、適切な政策判断とは思えません。今後、今回の決定を機に、理念も原則もないがしろにして、「テロとの闘い」を名目で、直接的武器援助のために ODA が使われるようになっていくことを強く懸念します。

4 . DAC の ODA 定義に反し、貧困問題の解決に寄与しない。

国際的に見ても、今回の決定は「開発途上国の経済開発や福祉の向上に寄与することを主たるもの」を ODA とするという、開発援助委員会 (DAC) の定義に反するものです。ODA は貧困問題の解決などに使われるべきものであるというのが、援助国の共通認識です。ましてや、ますます貧富の格差が開き、温暖化など環境破壊が進み、感染症の防止対策も十分でない現代において、今回のような決定は、日本がこうした問題に対して真剣に取り組もうとしていないという誤ったメッセージを国内外に送ることになります。今、国際社会が協調して、真に貧困問題の解決に取り組むべき時であるにもかかわらず、こうした ODA 本来の目的と相容れないものに使う途を開くことは、世界第二位の援助国である日本が取るべきリーダーシップの形ではありません。

以上の理由から、私たちは、日本が武器援助を行い、ODA をそのために使うことに強く反対し、計画の即時撤回を求めます。

アジア女性資料センター

アジア太平洋資料センター

インドネシア民主化支援ネットワーク

ODA 改革ネットワーク

関西 NGO 協議会

債務と貧困を考えるジュビリー九州

さっぽろ自由学校「遊」

名古屋 NGO センター

日本国際ボランティアセンター

ピースボート

ピープルズ・プラン研究所

(五十音順)

賛同団体（五十音順）:

「婚外子」差別に謝罪と賠償を求める裁判を支援する会

ATTAC ジャパン

ATTAC 北海道

CHANCE!pono2

J - Net フェアトレードセンター

アジア・フォーラム横浜

アジア平和連合ジャパン

アジア連帯講座

オルタモンド

グローバリゼーションを問う広島ネットワーク

しないさせない戦争協力・関西ネットワーク

ジュビリー関西ネットワーク

セルフ・エティーム・リンケージ

チェチェンニュース編集室

てんみくろんの会

日本友和会（JFOR）

ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン

ひきこもり九条の会

フィリピンのこどもたちの未来のための運動（CFFC）

プライバシーアクションさっぽろ

ボイス・オブ・ヒロシマ

ほっかいどうピースネット

みどりのテーブル

（特活）メコン・ウォッチ

核とミサイル防衛に NO！キャンペーン

核のごみキャンペーン・中部

関西共同行動

許すな！憲法改悪・市民連絡会

憲法を活かす市民の会・やまぐち

国賠ネットワーク

国連・憲法問題研究会

市民自治を創る会

社会市民連合

社会民主党 福島みずほ事務所

女たちの戦争と平和資料館

女性グループ翼（ウィング）

浄土宗寿光院

世界平和記念聖堂・カトリック幟町教会
先住民族の10年市民連絡会
戦争に反対し、行動する市民の会
戦争への道を許さない女たちの会北海道
第9条の会・オーバー東京
日本カトリック正義と平和協議会
日本ネグロス・キャンペーン委員会
派兵チェック編集委員会
反差別国際運動 (IMADR)
反差別国際運動日本委員会 (IMADR-JC)
不戦へのネットワーク
明治大学駿台文学会
(特活) 明日のカンボジアを考える会
有事法制反対ピースアクション
良心的軍事費拒否の会・関西

以上 52 団体

個人賛同者（順不同）:

田中泉	長南博邦	飯島薫	横原由紀夫
千葉智恵子	花房俊雄	藤林泰	志賀信夫
柴崎温子	平野将人	京野垂日	松平隆史
杉本 隆也	谷川正彦	増田千代子	天野文子
大倉弥生	岩瀬ひさみ	小杉はま子	山本佐枝子
小寺盛夫	倉戸ミカ	加賀谷いそみ	小林葉子
三輪敦子	長瀬理英	金靖郎	田中美津
田中伸尚	田村祐子	波田埜雅子	岸本正人
池田忠久	小林純子	重田裕子	松本真紀子
花村健一	沼田哲	加藤良太	濱口喬香子
鈴木励滋	升弘之	鈴木香織	松宮光興
花房恵美子	清水祐子	安楽知子	松田一樹
岩川保久	小阪仁美	井形和正	田中仁美
加納実紀代	戸島茂男	豊田幸治	高田道子
鈴木道昭	和田隆子	新井克己	森理恵
土屋翼	今井孝子	上野良治	小倉利丸
川井孝子	安部 宝根	土井桂子	青山薫
川嶋京子	宮嶋美子	伊達 純	小林洋子
田中直子	大野萌子	畠山照子	黒田秀之
小幡詩子	八木孝三	梶野宏	勅使川原香世子
吉田栄治	中西綾子	滝澤貢	定松文
奥田公恵	いのうえしんぢ	谷合裕子	Sugiura Chie
大河内秀人	山本潤	中川義裕	加藤直子
石田玲子	山本栄子	平志朗	乾言子
花房吾早子	青井眞吾	津村幸子	宮下奈津子
本山央子	橋本洋一	前田恵子	栗山次郎
錦織順子	手島武雅	岩畑正行	矢野周治
川井満	田中徹男	大橋正明	宜保幸男
浦川奈央美	野村修身	鴫田昭裕	姜咲知子
中森圭子	浅田明	原由利子	東龍夫
井上澄夫	片岡謁也	山岸素子	土屋郁子
志茂美栄子	森田麻里子	赤岩聰	青木裕一
太田昌国	土屋聡	天野理	山本みはぎ
森瀧春子	金井聡	中原道子	毛利昭義
大道魯参	羽生のり子	石井摩耶子	鈴木美代子
石下直子	緒方朋恵	野上恵子	大嶋薫
杉山百合子	栗原謙治	廣瀬栄	岸田知之

石川薫	紺野茂樹	上西創造	葛山美砂子
福井昌子	三澤恵子	新八子	箱山富美子
浜口克己	白久弘達	齊藤誠	塩沢加奈子
木村雅夫	佐藤雅一	篠崎美也子	nichigu asangha
高城由香里	相原太郎	清水澄子	上谷純子
古本妃留美	栗田英幸	島田美智子	大谷勝彦
入井真一	青柳行信	矢野まなみ	白岩佳子
福島みずほ	七尾寿子	重田園江	小野直子
井坂泰成	橋本育	岩崎美枝子	高橋清貴
橋本みゆき	山本和美	林田真人	
越田清和	吾郷健二	久保あつこ	以上 274 名
渡部鋭幸	彦坂諦	土橋博子	
大畑豊	平野恵子	土橋裕幸	
西文子	東本高志	さとうしゅういち	
竹ノ内研司	吉池俊子	遠藤恵子	
京野楽弥子	小笠原公子	平山良平	
金信明	古屋泰	寺尾光身	
山田みち世	磯貝治良	大竹香奈子	
甘糟智子	佐藤明子	豆多敏紀	
梶川涼子	今大地はるみ	竹原陽子	
梶川彩	木村まり	弘田しずえ	
野々垣真美	清水さつき	佐藤大介	
木村厚子	小沼稜子	池田佳代	
コリン・コバヤシ	竹下美穂	成澤彰男	
矢嶋宰	村田泰美	森崎竜一	
水垣奈津子	増田博光	松崎百合子	
山本英夫	井坂勝則	大野和興	
竹林伸幸	山田正行	中田妙佳	
山本由美子	石川治子	中田健太郎	
木村昭子	阪野智夫	林英樹	
攝津正	宮野由美子	藤岡惇	
加藤伊都子	鶴野陽子	徳武篤子	
箱田徹	伊藤朝日太郎	野村保子	
高瀬喜与江	高原幸子	山下多津子	
太田久眞	伊従直子	加藤和博	
前田圭子	新保淳乃	山口たか	
国富建治	田中靖枝	須賀祥枝	
フジワラトシカズ	野口千恵子	平島禎子	
生方卓	岡寄啓子	笹井健匡	

